

次期森林計画についての森林管理署の検討方向 〈五島壱岐森林計画区〉

— 目 次 —

1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 林産物の供給に関する事項
 - (4) 国有林野の活用に関する事項
2. 次期計画の検討方向

長崎森林管理署

海岸線の国有林(魚つき保安林)

1. 現行計画の概要(平成29年4月1日～令和4年3月31日)

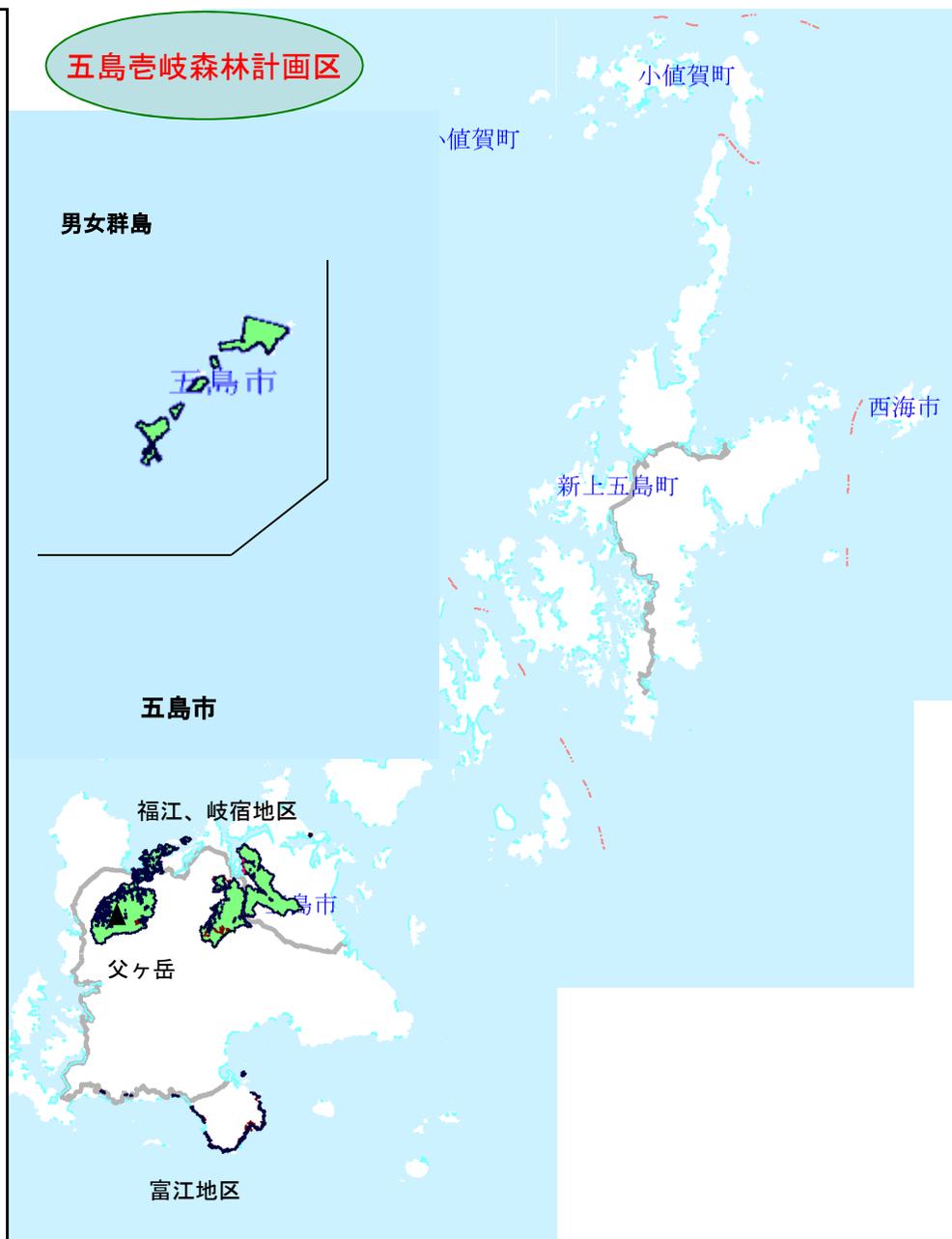
・五島壱岐森林計画区の対象は、五島列島及び壱岐島で構成する離島地域の国有林野3,083haで、久賀島、奈留島、若松島、中通島及び壱岐島には国有林は存在しません。

・計画区内の全森林面積の6%にあたり、天然林が46%、人工林が54%を占めています。

・計画区域のうち制限林が94%を占め、水源かん養保安林が全体の42%となっており、その一部は優れた自然景観を有し、西海国立公園に指定されています。

また、計画区内の最南部に位置する男女群島は、そのほとんどが国有林で、亜熱帯性植物が自生する天然記念物のほか、魚つき、航行目標保安林及び植物群落保護林に指定し、保全に努めています。

・主な樹種として、カシ類等の天然広葉樹林、スギ、ヒノキ人工林を主体とする水源かん養林等からなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、国有林野を、重点的に発揮すべき機能に応じて5つの機能類型に区分し、管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (389ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視。	根や表土の保全、下層植生の発達した森林。
自然維持タイプ (725ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の育成・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視。	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・生息に適した森林。
森林空間利用タイプ (0ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視。	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林。
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成機能の発揮を重視。	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林。
水源涵養タイプ (1,969ha)	水源涵養機能の発揮を重視。	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林。 森林資源の有効利用にも配慮。

②-1 森林・林業再生に向けた貢献（森林整備推進協定の取組）

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、国有林の持つ組織・技術・資源を活用し、民有林行政の支援に積極的に取り組めます。

五島地域森林整備推進協定に基づき、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、森林の団地化推進や、合理的な路網の整備及び効率的な森林整備の実施に取り組んでいます。



五島地域森林整備推進協定
WGによる意見交換会の様子



五島地域森林整備推進協定
WGによる現地検討会の様子

②ー2森林・林業再生に向けた貢献（ケーススタディ地区の取組）

国と県のフォレスター等が市町村森林整備計画の作成や地域の課題解決に向けた取組を進める目的で「ケーススタディ地区」を五島市で設定しており、長崎県、五島市等との密接な連携を図りながら、国有林の組織・技術力・資源を活用し、民有林に対する支援等に積極的に取り組んでいます。



ケーススタディ地区キャラバン
意見交換会の様子

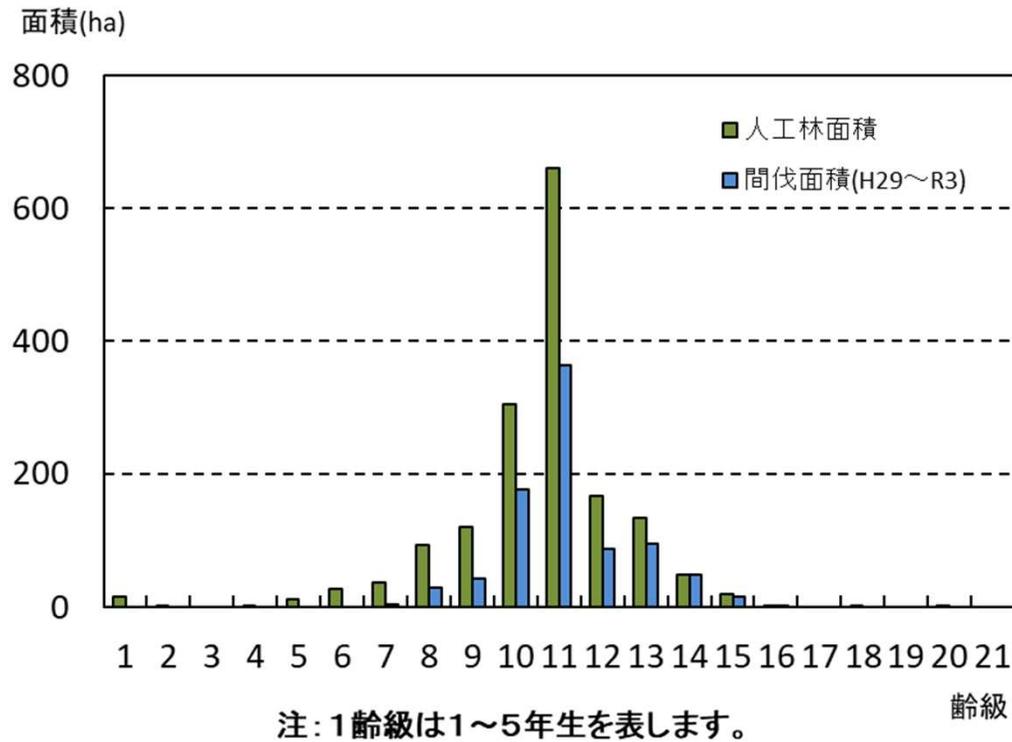


ケーススタディ地区キャラバン
現地での意見交換会の様子

③地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約1,640haで、そのうち間伐を必要とする16年生から60年生の人工林の面積は約1,421ha（人工林面積の87%）です。

また、現行計画（H29年度～R3年度）では間伐を約864ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林

④多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを実施しながら下層植生による林地の被服を図り、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



長伐期化された森林



複層林化された森林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

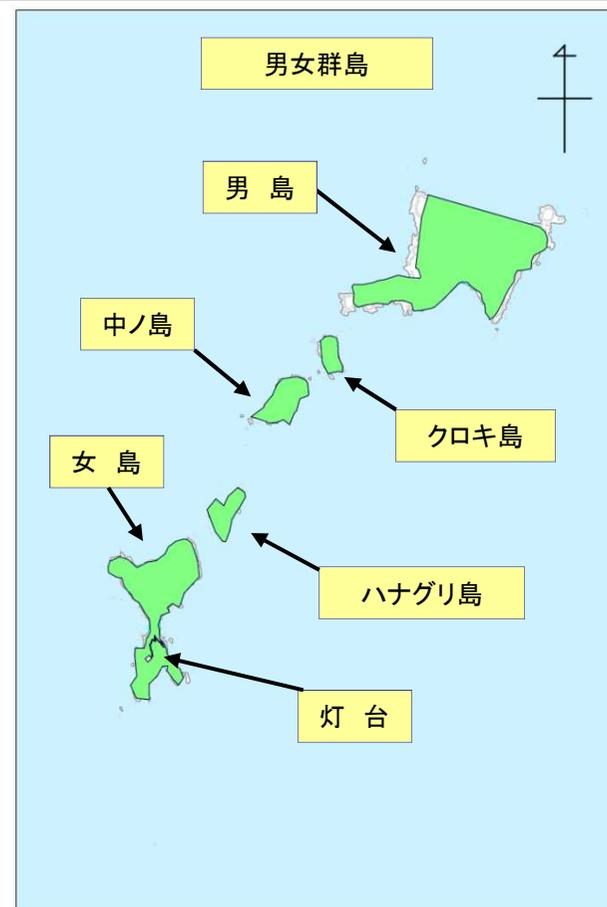
生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な自然環境を有する天然林等が多数存在しており、これらの森林については、生物多様性の保全を図る上で重要であることから、保護林に設定し、巡視活動を通じて適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	概要	面積 ha
生物群集 保護林	男女群島	福江島から南西約70kmに位置しており、自生しているアコウ等の亜熱帯性植物は天然記念物にも指定されています。	415



女島に設置されている注意看板の状況



(3) 林産物の供給に関する事項 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



列状間伐後の林内状況



簡易で壊れにくい路網の作設状況

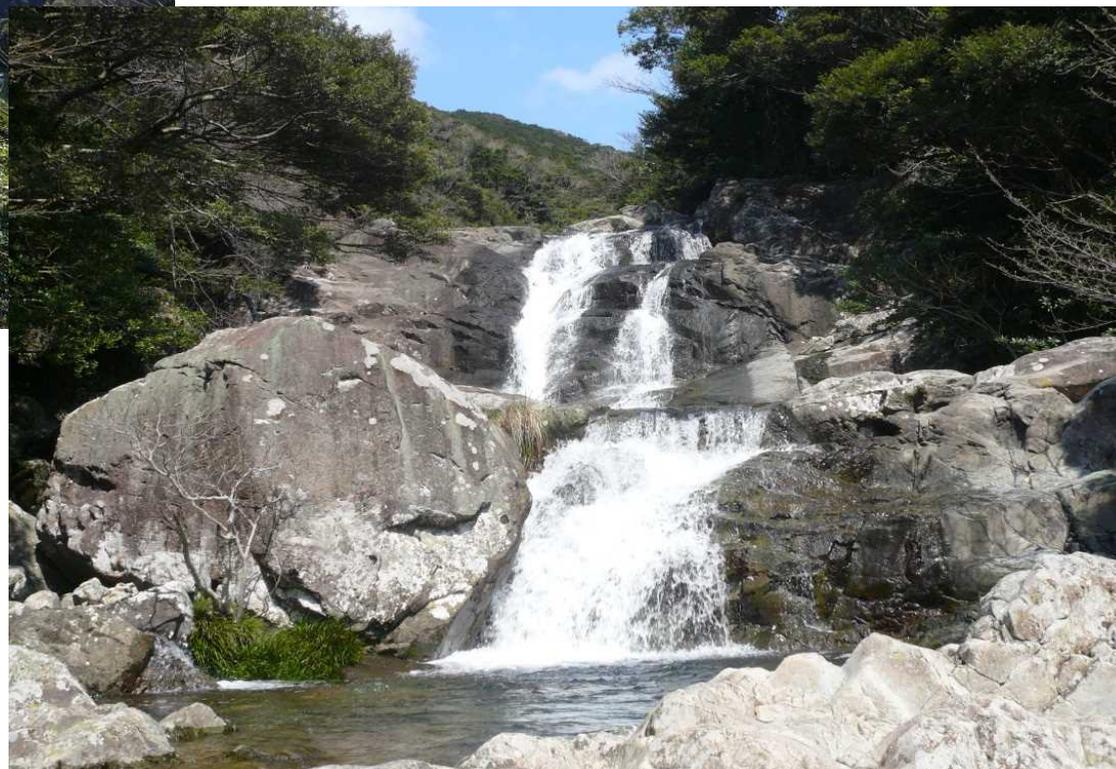
林業生産コストの削減を図るため、列状間伐による効率的な間伐の実施、簡易で崩れにくい路網の整備、高性能林業機械による作業システムやコンテナ苗の導入等を推進しています。

(4) 国有林野の活用に関する事項 森林の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を地域の方々に提供しています。



浦ノ川ダム湖と水源の森

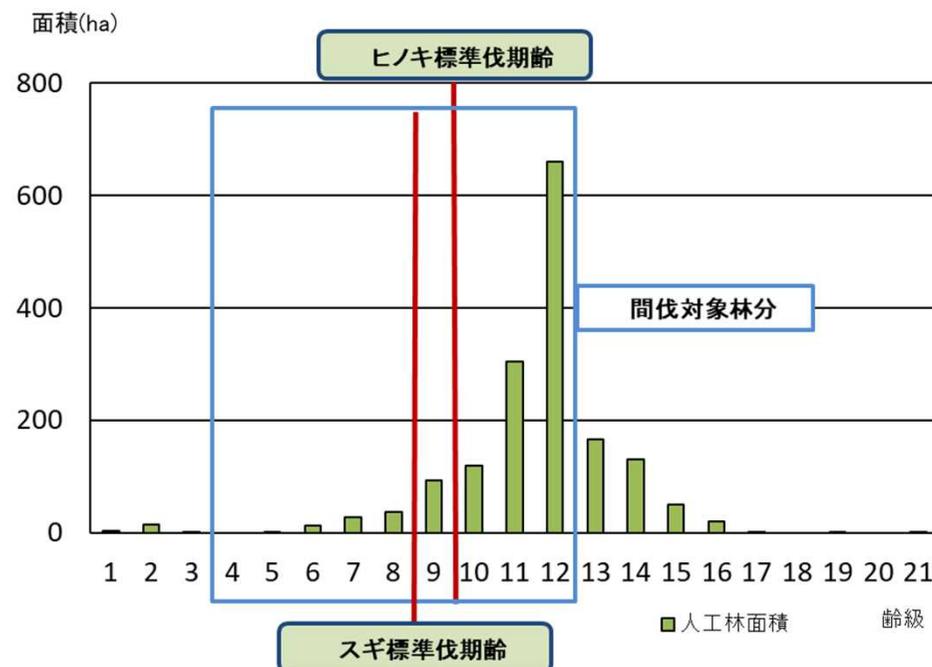


ドンドン湍

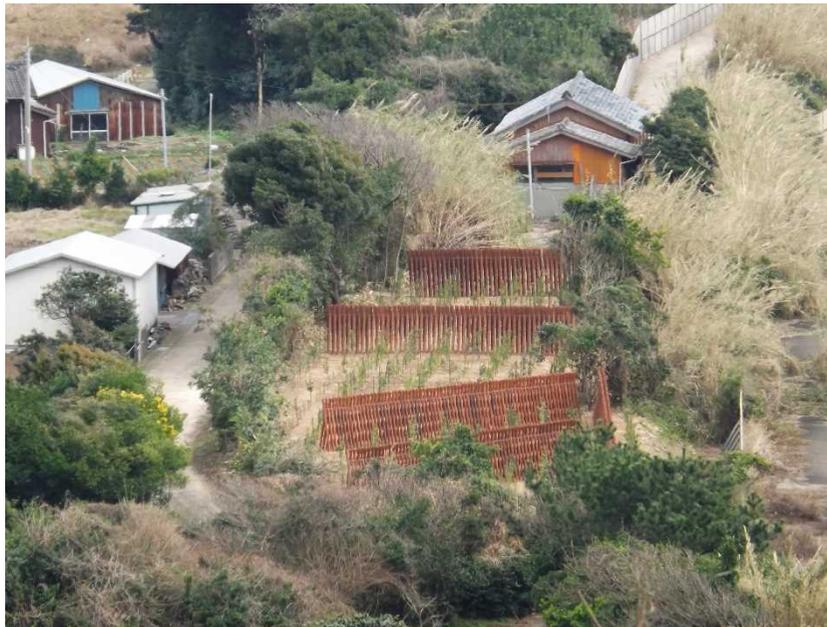
2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源涵養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・次期計画においては間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は76%であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の観点からも間伐を推進する必要があります。
- ・将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



- ・本計画区には保護林や保健・文化的利用を主とした森林を設定しており、これらの国有林野を適切に保全、管理していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせ等があることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・木質バイオマス発電等、新たな需要に応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



マツの植栽と丸太防風柵の状況(防風・潮害防備保安林)



景観に配慮した治山ダム

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進していきます。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然観察や森林浴などの利用を目的とする森林については、現状を維持していきます。

生物群集保護林(男女群島)



男 島



クロキ島 (黒木島)

生物群集保護林(男女群島)



中ノ島 (寄島)



ハナグリ島 (花栗島)



女 島



灯台 (女島)

- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、分収林制度を活用して、森林整備を推進していきます。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進していきます。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努めていきます。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進めていきます。
- ・民有林と国有林が連携し、効率的な森林整備に取り組む「森林共同施業団地」を拡大・拡充することにより、森林整備の一層の効率化に取り組めます。